



gooddays

グッドデイズ 2018.1.22発行 / 発行・編集：グッドモーニングズ株式会社 水代 優 www.goodmornings.co.jp



ON INVERT

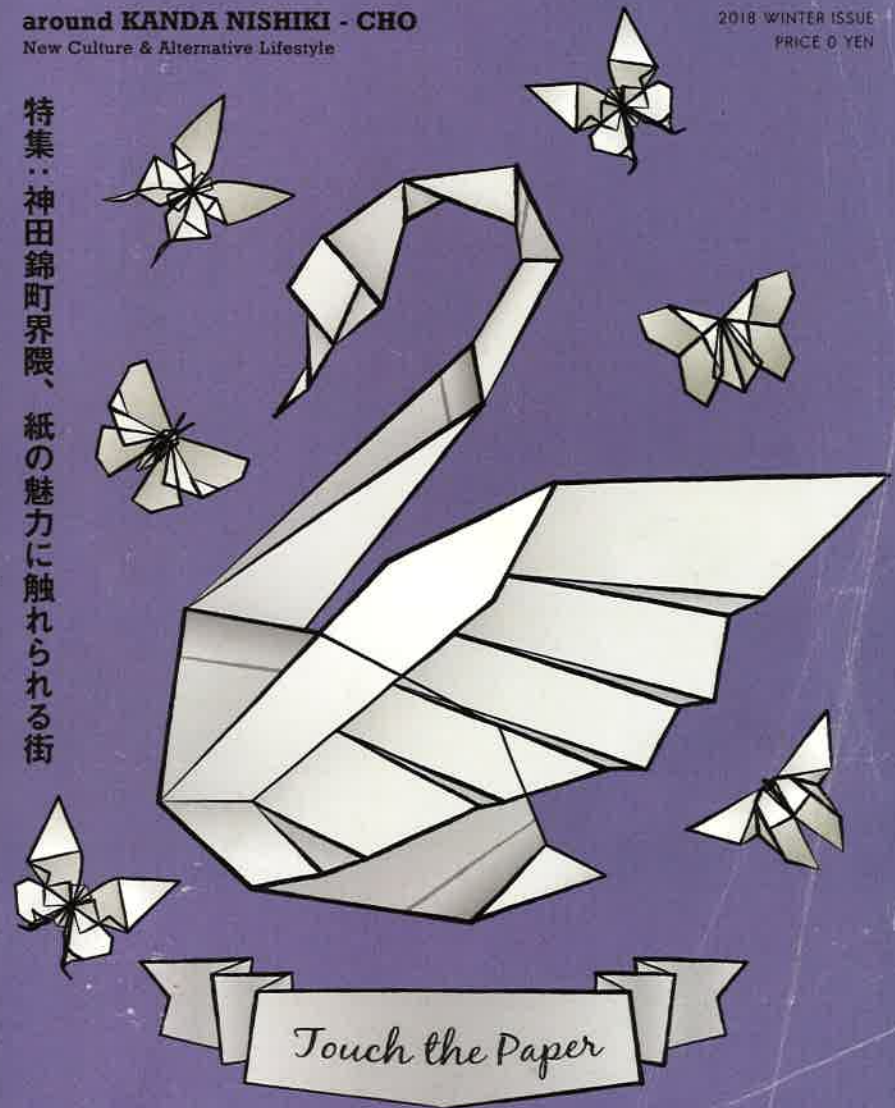
# gooddays

Vol. **11**

around **KANDA NISHIKI - CHO**  
New Culture & Alternative Lifestyle

2018 WINTER ISSUE  
PRICE 0 YEN

特集：神田錦町界隈、紙の魅力に触れられる街



Touch the Paper

## 神田錦町界隈、 紙の魅力に触れられる街

TEXT・Yuki Motomura / PHOTO・Hideki Otsuka

神田錦町界隈を歩いていると、ガラス張りの  
ショールームが目に入る。

真っ白な空間に美術品のように並べられて  
いるのは、美しいグラデーションで並べられ  
た様々な“紙”だ。

神田錦町に本社をかまえる紙の専門商社、株  
式会社竹尾をはじめ、この界隈には紙にまつ  
わる企業や店が集まっているのをご存知だ  
ろうか。

私たちの生活は、実にたくさんの“紙”で支え  
られている。

トイレトペーパーやティッシュペーパー  
だけではない。手帳やノート、名刺や切符、レ  
シート、包装紙、段ボール……。

ペーパーレス化が叫ばれるようになって久  
しいが、やっぱり、紙でしか味わえない魅力  
がある。

今号では、奥深き紙の魅力に触れられるス  
ポットを紹介する。





GOOD DAYS STORY  
Vol.  
**13**

Message from  
Yuko Taki



創業137年という長い歴史を持つ山形屋紙店は、和紙を中心とした紙の専門店です。全国から取り寄せた手すき和紙のほか、書道や絵画、工芸など幅広い用途にお使いいただける様々な和紙を取り揃えています。ほかにも、和紙を使ったハガキやヘアアクセサリなど、スタッフが手作りしているオリジナル商品も多数販売。最近では日本のお土産として海外の方にも喜ばれています。

幕末の時代、神田錦町界隈は武家屋敷がずらりと立ち並んでいて、ちょうどお店がある位置は、神保伯耆守(じんぼほうきのかみ)のお屋敷がありました。「神保町」は、この旗本の名前が由来になっているんですよ。今では街の様子はすっかり変わってしまいましたが、お店の裏に、大正元年に建てられたレンガ造りの蔵が残っていて、今も現役で和紙を保管しています。なんでも現存する蔵で、今もなお使われ続けているのは、千代田区のなかでうちの蔵だけなんだそうです。

和紙の原料は楮(こうぞ)、みつまた、雁皮(がんび)の3種類で、産地や製造法によってさまざまな種類があり、それ

歴史と文化の香りを残す街の一角で、  
時代の流れとともに変化する紙の魅力を保ちたい

ぞれ特徴があります。お客様に「和紙をください」と言われても、本当にたくさんあるので、まず何に使うのか、そして色付きが良いか、模様があったほうが良いかなど細かくお聞きするところから始まります。紙は質感がすべてですから、お店に来てご相談いただければ、大抵のものはご用意できると思います。最近ではちぎり絵など工芸用にお求めのお客様が多いですが、丈夫で長持ちする和紙は使い道も人それぞれ。今でも思っても見ない用途の方がいらっしゃるし、紙の魅力はまだたつきません。

私は四代目の妻としてこちらに嫁いできました。もともと本が大好きだったので、古書街に近い商家に嫁ぐことになり、とてもワクワクしたのを覚えています。とはいえ、嫁いだばかりの時は覚えることも多くて、慣れるまでは大変でした。今は歩いているとついつい足をとめて見てしまい、本が増えすぎて困っています(笑)。街の雰囲気は、私が嫁いできた40年前と比べたらずいぶん変わりましたが、文化的な香りが変わらず残り続けているのが良いですね。変わらない良さがある街で、これからも紙の素晴らしさを伝え続けたいです。



# PAPER SHOP

Around  
Kanda Nishiki-cho

SPECIALITY STORE 紙の専門店

01

山形屋紙店

神田錦町界隈に集まる、紙にまつわるショップをご紹介します。  
仕事や趣味に使える専門店から、生活に役立つ紙小物の販売店まで、  
奥深い紙の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。



東京都千代田区  
神田神保町2-17  
平日 10:00-18:00  
土日祝 定休  
yamagataya-kamiten.co.jp

## 日本中から集めた選りすぐりの手すき和紙とオリジナルの紙小物を扱う老舗

創業137年の歴史を持つ、和紙を専門とした老舗紙店。全国各地の和紙メーカーに直接足を運んで選び抜いたさまざまな和紙の他に、店舗スタッフが手作りしているオリジナルの紙小物が揃い、ふらりと立ち寄っても様々な発見がある楽しい店だ。一口に和紙といっても、紙の質感や厚さなど細かく異なり、用途を相談すれば丁寧に対応してくれる。宮内庁や神社仏閣で使用する和紙も扱っているというから、その品質は折り紙つき。店舗裏にあるレンガ造りの蔵は、関東大震災や東京大空襲にも耐えたという貴重な建物で、街の歴史を感じられる有効のスポットでもある。



## 色のグラデーションから選べる 紙の見本帖がそのままお店になったような専門店

神田錦町に2000年にオープンした、紙の専門商社・株式会社 竹尾のショールーム兼ショップ。真っ白の空間に紙見本がグラデーションで並べられ、色・質感から選ぶことができる。取扱のある約9000種類のうち、およそ3000種類が店頭で並んでいる。近隣の出版社や印刷会社が利用するのはもちろん、ペーパークラフト用や結婚式の招待状など、個人での利用も多いそう。2階には紙にまつわる展示をおこなうギャラリーが併設されており、さまざまな視点で紙の魅力に触れることができる。

東京都千代田区神田錦町3-18-3  
平日 10:00-19:00 土日祝 定休  
takeo.co.jp

SPECIALITY STORE 紙の専門店

02  
竹尾 見本帖本店

## COLUMN 神田錦町に集まる紙の専門商社

東京のなかでも紙の卸業者が集まる地域がいくつかありますが、ここ神田錦町界隈もそのうちの1つです。出版社や大学が多かったことから、自然と紙にまつわる企業が集まってきたのだと言われています。また、このあたりはもともと武家屋敷が多く、広大な土地を所有していたことから、大きな機械を入れる印刷業社や製本業社が入りやすかったのも1つの理由だと思います。  
北越紀州販売株式会社は、当地で社歴69年を有した丸大紙業株式会社と、神保町にあった株式会社田村洋紙店が統合し、北越紀州製紙株式会社の直系代理店として2011年に発足した会社です。お取引先も周辺の出版社様や印刷会社様が多くあります。パソコンやスマートフォンの発達は目覚ましいですが、紙は絶対になくなることはありません。もともと紙は時代の流れに合わせて変化してきました。今のサステナビリティの社会の中で、環境に優しい北越紀州製紙の紙を販売するなど、紙の持つ可能性をさらに拡大していきたいと思ひます。



北越紀州販売株式会社  
取締役・常務執行役員 田村典義(左)  
執行役員 更科雅也(右)  
hokuetsu-kishu-hanbai.jp



03

京都便利堂



京都の老舗美術印刷会社が制作した  
名画や名作のはがきが買えるアンテナショップ

明治20年に創業した京都便利堂は、美術作品を中心とした印刷や出版を手がけ、美術品の図録の制作や国宝や重要文化財をはじめとする貴重な文化財の複製などに携わっているほか、ミュージアムショップの運営もおこなっている。神田神保町に店を構える「美術はがきギャラリー」には、京都便利堂で制作し、全国の美術館や博物館で販売されている名作・名品の美術はがきが柱いっぱいにくるりと囲むように展示されている。ギャラリーではあるが、展示されている商品は購入可能。便利堂独自の「コロタイプ」という希少な印刷技術を用いてつくられたはがきは、色の濃淡や階調を詳細に再現した美しいデザインのものばかり。人気の鳥獣戯画のグッズも揃うので、人と違うギフトを探している方にもおすすめしたい。

東京都千代田区神田神保町2-3-1 岩波書店アネックス2階  
平日 12:00-18:00 土・祝 12:00-17:30 日曜定休 [kyotobenrido.com/html/page3.html](http://kyotobenrido.com/html/page3.html)

04

神保町いちのいち



神保町発! 目利きのバイヤーが  
セレクトした逸品が揃う雑貨店

東京都千代田区神田神保町1-1 三省堂書店内  
平日・土日祝 10:00-20:00  
[ichinoichi.books-sanseido.jp](http://ichinoichi.books-sanseido.jp)

三省堂書店内に2013年に誕生した「神保町いちのいち」は、「物語を持ったもの、コトバをモチーフにしたもの、紙でつくられたもの」をテーマにバイヤーがセレクトした雑貨が揃う。なかでも注目したいのが、本店でもある神保町店限定のサービス「えらべる帳」だ。表紙と裏表紙、中身やリングを数種類から選んで組み合わせでオリジナルノートを作ることができ、日記帳や大切なことを書き留めておくメモ帳などにぴったり。自分だけのお気に入りを探しにいこう。

05

文房堂



東京都千代田区神田神保町1-21-1  
平日・土日祝 10:00-19:30 年中無休  
[bumpodo.co.jp](http://bumpodo.co.jp)

画材としての紙を幅広く取り扱う明治20年創業の老舗画材店

駿河台下の交差点から、すずらん通りに入ってすぐのところにある文房堂は、創業から130年もの歴史を持つ老舗画材店だ。専門店なだけに、スケッチブック1つとってもその選択肢は幅広く、1階にある画材コーナーには、文房堂オリジナル商品も販売されている。地下1階にはデザインやイラストなどさまざまな用途に使えるカラフルな画用紙をご用意。大判サイズのものまで揃うので、画用紙をお探しの方は是非足を運んでみてほしい。

国内外のアーティストが滞在し、制作・発表をおこなう「AIR 3331」。  
そこで彼らが見たもの、感じたものとは。



" Move Arts Japan アーティスト・イン・レジデンス プログラム 2017 "

アーティストが日本全国を旅しながら情報を収集し、作品へと昇華させる移動型レジデンスプログラム。ドイツ、台湾、韓国のアーティスト3名が、それぞれのテーマにあわせて札幌や秋田、石川、山梨、京都、福岡などを巡り、映像作品や造形、料理を通じてプレゼン

テーションをおこなった。日本のアイヌ文化についてリサーチをおこなったシュールアン・ウーさんは「様々な地域を訪れることで、日本と台湾の文化の違いを多角的に捉えることができました」と語ってくれた。シュールアン・ウー(台湾)

**Schedule**  
AIR3331

- ハイ シン・ホワン(米国) / 滞在期間: 1/5(金) ~ 2/1(木)
- チュン シュン・ラン(台湾) / 滞在期間: 1/5(金) ~ 3/29(木)

※1/22(月)に上記2名のアーティスト出演のトークイベントが下北沢のGood Heavensにて開催されます。その他イベントも含め、情報は、ホームページ(residence.3331.jp)やFacebookなどで随時発信いたします。

連載  
企画

錦町さんぽ

如月まみが案内する、神田錦町界隈の四季

文・「神田錦町 如月」女将 如月まみ 写真・大塚秀樹

Vol.11



第11回

白山通りでかるたの魅力を再発見

家で過ごすことが多くなるこの季節、おこりにぴったりな室内ゲームの専門店をご紹介します。

白山通りにある、大正10年創業の奥野かるた店は、かるたや百人一首、花札や将棋、チェスやパズルなど幅広く取り揃えています。もともと花札を集めていたり、着物や帯も将棋柄や麻雀牌柄など持っていたりするので、このお店のラインナップは魅力的！変わり種のかるたもたくさんあって、「感染症カルタ」や「省エネカルタ」、「オカルトかるた」など気になるものばかりです。2階はギャラリーになっていて、訪れた時は江戸時代の美しい百人一首が展示されていました。迷いましたが、今回は「大型行軍将棋」を購入。こちらで寒い冬も楽しく乗り切りたいと思います。



神田錦町 如月  
Kanda Nishiki-cho Kisaragi

酒場のおんな「如月まみ」が女将として立つ和食屋。如月まみが全国から選び、取り寄せた旨し酒と肴に料理人多賀谷が作り出す、和の味わいをお楽しみください。

東京都千代田区神田錦町 2-3-10  
TEL 03-3518-2212  
kandanishiki-kisaragi.jp  
月~土 17:00-22:00 / 日祝 定休



奥野かるた店  
Okuno Karuta-ten

大正10年おもちゃ問屋として創業。昭和54年に現住所に移転。室内ゲームを幅広く取り揃えるほか、メーカーとしてオリジナル商品の開発もおこなう。

東京都千代田区神田神保町2-26  
okunokaruta.com  
月~土 11:00-18:00  
日祝 12:00-17:00  
第2・第3日曜 定休





## BIZCORE 神保町

NEW VENUE | Office Building



### 新しい働き方に応える オフィスビルの第一弾が、満を持して登場

去る11月下旬、新日鉄興和不動産株式会社が手がける中規模ハイグレードオフィスビル「BIZCORE神保町」が竣工を迎えた。企業のビジネス(BIZ)に資する本質(CORE)を追求するという同社の「BIZCORE」ブランドにとって記念すべき第一弾の物件となる。地上9階建て、耐震/防災面も含めたスペックの高さと、全面ガラス張りの外観・開放感あるエントランスホール等、コンセプトを反映させたデザインを備えている。

中でも入居者専用の屋上庭園は、目に優しい植栽、機能・美とともに上質なソファ、夕暮れ時の大手町のビル群などの優れた眺望など、当物件の開発を担当するビル事業本部、都市再生部事業推進グループの野口尚希さんも一押しする注目部分。中規模ハイグレードオフィス供給の先進事例として、同ビルには引き続き注目したい。

BIZCORE神保町 東京都千代田区神田小川町3-9-2

## 紙me vol.1

Event Date: 2018/2/10 SAT - 11 SUN



## 「紙」の魅力に触れる二日間

紙という、あまりに生活に密着しているがゆえに、特段気かけないこのモノに改めて着目する(見る・見つめる・見つける)イベント、名付けて「紙me(カミメ)」が開催される。

ワークショップ、トークショー、作品の展示やマーケットを通じて、紙自体はもちろん、印刷や加工、紙関連業界に従事する人に至るまで、紙に関わるあらゆる魅力とストーリーに触れられるこの機会をお見逃しなく。イベントに先立ち同名のウェブサイトも公開中。

日時: 2/10(土)~2/11(日)

開催場所: テラススクエア(エントランス及び2Fテラステーブル)

主催: kamime実行委員会 kamime.net

## 神田警察通り賑わい社会実験2017

Event Date: 2017/10/23 MON - 29 SUN

神田らしい賑わいの創出を企図して、去る10月下旬に実施された当イベント。地域の公共空間を舞台に催されたプログラムは計12にも登り、下記2コンテンツ始め、ワーカーや住民が参加した素敵な交流の場が地域各所で展開された。



## 神田錦町緑むすび学校(27-28日)

ちよだプラットフォームスクエア界隈で実施。初日の「おとなの学校」は、企業対抗綱引き・玉入れ、地元飲食店の屋台などで賑わい、二日目の「こどもの学校」は、元プロ野球選手による野球教室、また三味線や半纏の魅力に触れるプログラムを展開。一番の目玉は路上結婚式「ストリートウェディング」バージョン“道路”を薫頭の木遣りと共に練り歩き、子ども達も手作り楽器演奏で祝福。二日間を通じ、地域の人・オフィスワーカー・新郎新婦と多層的で実り多い「緑むすび」の機会となった。



## 神田・新観光案内所/歩いて発見!

## よりみちーズ(23-29日)

美土代町MID STAND TOKYOとその前面道路を敷地にしたオープンカフェ「神田・新観光案内所」が出現。路上で憩うという新鮮な経験を楽しめた。また散歩して見つけた味のある路地や店を写真に収め、地図に貼り付けるマップ作り「歩いて発見! よりみちーズ」では、街の知られざる魅力が共有された。

## TERRACE SQUARE PHOTO EXHIBITION #8

## 「A Day in the Life」石田真澄

Event Date: 2017/12/7 THU - 2018/3/9 FRI



高校時代から独学で撮り続ける新進気鋭の写真家・石田真澄。彼女の手により切り取られた日常は、あふれるような瑞々しさをたたえたものばかり。ビートルズによる同名の楽曲で展開される世界のごとく、幸せな日も苦しい日も、様々な日常がコラージュ的に並んでいる。

期間: 2017/12/7(木)~2018/3/9(金)

時間: 8:00-20:00 ※ 土日は休館

会場: テラススクエア 1F エントランスロビー



**PAPER ISSUE**  
「紙」特集でご紹介した場所

**A Day with Art / 錦町さんぽ 他**  
本誌連載にてご紹介したお店

**Event / New Venue**  
神田錦町界隈のイベント/新店舗